

付録 A 対応機種 of SNMP について

「Network Utility」に対応している LAN カード・オプションは、ネットワーク管理プロトコルの SNMP に対応しており、SNMP マネージャーソフトウェアにより管理することができます。

下記に、対応している仕様を記載します。

LAN カード・オプションは以下の標準に従います。

SNMP バージョン	SNMPv1 (RFC1157) 準拠 (SNMPv2 には対応していません)
トランスポートプロトコル	UDP/IP, IPX/SPX
コミュニティ名	Read-Only コミュニティ名及び Read-Write コミュニティ名を設定可
対応 MIB	MIB- (RFC-1213) の一部 KOMATSU Private MIB の一部 HP Private MIB 等の一部 Printer MIB (RFC1759) の一部
対応 PDU	GetRequest、GetNextRequest、SetRequest、GetResponse

SNMP での管理方法については、各 SNMP マネージャーソフトウェアの操作マニュアルをご覧ください。

付録 B LAN カード・オプションの動作 IP アドレス

LAN カード・オプションは、起動時に以下の手順で動作 IP アドレスを決定します。

- 1 . RARP による IP アドレスの取得
- 2 . BOOTP による IP アドレスの取得
- 3 . DHCP による IP アドレスの取得
- 4 . 内部設定パラメーターからの IP アドレスの取得


RARP, BOOTP, DHCP がすべて Enable に設定されている場合は、1 ~ 3 の取得手順においてサーバーから最後に受信した IP アドレスが有効になります。Disable に設定されているものはスキップされます。RARP, BOOTP, DHCP がすべて Disable の場合は、4 の内部設定パラメーターの IP アドレスで起動します。

【注意】 RARP, BOOTP が Enable の場合でサーバーから応答が無い場合は、タイムアウトがそれぞれ LAN カード・オプション内部で 4 秒に設定されていますので、LAN カード・オプションが起動するのに最大 8 秒以上かかります。また、DHCP が Enable の場合で DHCP サーバーから応答が無い場合は、タイムアウトが LAN カード・オプション内部で DHCP 送信 1 回につき 60 秒に設定されていて最大 3 回送信しますので、LAN カード・オプションが起動するのに最大 180 秒以上かかります。

付録 C 改訂履歴

「Network Utility」の改訂履歴は次の通りです。(主な内容のみ記載)

バージョン	主な内容
1.00	LAN カード・オプション対応版としてリリース



Network Utility
ユーザーズマニュアル

平成 12年12月 初 版

< 禁無断複製 >

